

名勝廬山

第百六十三回
第十四輯七回

内容

- 武昌の浮船(楊子江)……………一
- 武昌の一角(楊子江)……………二



亞細亞大觀



- お寺詣の善女……………三
- 九江琵琶亭……………四
- 中支方面の老翁……………五
- 松澎寺の下流……………六
- 王羲之の碑……………七
- 廬山の瀧……………八
- 廬山西林寺……………九
- 廬山の茶店……………十

名勝廬山 森田富義
撮影 島崎役治

大連市山縣通り一三九

發行所 亞細亞寫真大觀社

(毎月一回發行)

電話②六二三五
振替穴七二一八
版權所有 不許複製

編輯人 青山捨夫
大連市山縣通一九三
同 青山捨夫
發行人 島崎役治
大連市三河町二一
印刷人 鈴木周哉
發行所 亞細亞寫真大觀社



名勝廬山

森田富義

支那には仙山が多い、それらの仙山は何れも歴史的に文學的に或は宗教的に物語りと傳説を持ち、然もそれらを物語る遺跡が残つてゐるのである。此處に説明する廬山も亦その仙山たるを免れない名山である。

廬山は楊子江沿岸九江の南方四里（日本里）位のところにある。山容は奇峯多く、氣候溫和により翠巒の姿が連連とした南北十一里に亘る大山で、北は楊子江より南は鄱陽の碧湖に誇つた山である。この山は峯が多く、どの峯が廬山であるか不明で、各峯にそれぞれの名を冠してゐる。その著名な峯は双劍峯、蓮花峯、香爐峯、大林峯、天池峯、五老峯、石鏡峯、紫霄峯、鐵船峯、漢陽峯があつて、これらの名峯全峰を連ねて飛泉靈石が繼ひ、それとともに名蹟古址が所在してゐて、それが廬山であるが判然しないのである。だから、この全峰を稱して廬山と稱してゐるのである。俗に『論語讀の論語知らず』の語があるが、それとは意味が違ふにしても『廬山に入つて廬山を見ず』と云ふほどの峯もどの谷も景色が佳いのである。

傳説によると、昔し殷周の時代に匡俗先生が天道仙人と共にこの山に遊び、風光を賞し詩を詠じ、汚れたる世俗を嘆じ天仙境の靈地を慄々として遊んだところから、この山は神仙の家と云ふところから廬山と云ふことになつたと云ふのである。以來支那の著名な人物でこの山に遊び、この山容の奇景に憧憬した者多く、彼の有名な王羲之も此處に暫く庵を構へたと云ふので後人が王羲之肖遙の地として碑を建ててゐる。碑は石門型のもので石刻の文字も長い間の風雨に風化して讀むに難く、碑のまわりには青苔の錆さへ生じてかたつむりが通つてゐるのを見れば『王羲之の碑は朽ちたれど苔の青く』の一句さへ讀み度くなるのである。

これは廬山に入つて見る景であるが、外觀の景もまた佳く、楊子江の九江附近を溯航する者は北にこの名山を仰望して感嘆の聲を放つのである。遠望としては鄱陽湖上もよく山容が湖面に映じて天と地に二つの廬山を見ることが出来、廬山の景ばかりでなく鄱陽湖もこれがため風趣を加へ名勝となつたのであつて、『廬山高々として翠萬里、縣泉千尺飛龍を挂く、石鐘山下鏡の如く、映出す青天の五老峰』の詩はこの湖上の景眺である。

案内記によれば、廬山に登るには四つの道がある。これは古の雲峰寺から古北道と、蓮花洞から往く新北道と、含鄱口から登る南道と、澤慧寺から往く東道とである。四つの内にも新古南北道より入るが佳く、その内にも新道が唯一の登山道となつてゐる。假りに九江から往けば石門に往き蓮花峰を攀ち、聖治峰から安月山に出で、松光嶺を廻つて牯嶺に達するもので。道程は約一里、今まで自動車の便があり三十分で達するさうである。だが、登山に車を利用することは俗中の俗であつて、廬山に登り、各峰々を極めるにはやはり足ごしらへをよくして徒歩で登り、寺觀に宿り、茶店に憩ふて古への遺跡を探り、往時を追懐し、山の靈氣に侵り、天道仙人と語るべきであらう。しかしてはじめて廬山の廬山たるを知るのでなからうか。

武

楊子江中流域沿岸にある都會は漢口、漢陽、武昌の三都であつて、俗に武漢の稱がある。



武昌の浮船
(楊子江)

楊子江中流地域沿岸にある都會は漢口、漢陽、武昌の三都であつて、俗に武漢の稱がある。武漢は支那の政治軍事經濟交通の中心地であつたが、日支事變に依つて如何に轉開するかは不明である。窺眞は勿論事變前の光景であるが、これは武昌の河港に客船が投錨した際、碼頭から汽船を運ぶのである。水陸交通の中心点であるだけに、浮船が投錨すれば、船客を満載した浮船が數隻または十數隻寄つて來るのである。
(印畫の複製を禁ず)

(一ノ回七輯四十四圖大亞細亞)

ことは俗中の俗であつて、廬山に登り、各峰々を極めるにはやはり足ごしらへをよくして徒歩で登り、寺觀に宿り、茶店に憩ふて古への遺跡を探り、往時を追懷し、山の靈氣に侵り、天道仙人と語るべきであらう。しかしてはじめて廬山の廬山たるを知るものでなからうか。



武昌の一角
(楊子江)

寫眞は武昌の一角を示したものである。楊子江を上海から溯航して九六〇キロの地点、漢水の合流する大江を隔て遙か向ふに漢口漢陽に對してゐる。楊子江沿岸に於ける大一流の都會だけに市街も頗る整備しゐる。寫眞に見ゆる城壁は楊子江の増水にする侵水を防ぎ兵匪の難を避ける役目をするものである。人家の櫛比工場の大煙突は市街の殷盛を物語るものである。

(印畫の複製を禁ず)

この寫眞は中支地方楊子江沿岸附近に於け



お詣り善女

(中支地方)

この写真は中支地方楊子江沿岸附近に於ける支那の風俗を示したもので、支那人の女がお寺に参詣し何事が祈願してゐるところである。廟前に伏拜してゐる台の上にある敷物は蒲を編んだものであつて、普通はその上に前額を叩いて拜することになつてゐる。拜してゐる女の帯と鞋が白布であるのは近親者の喪に服してゐる者の風俗である。

(印畫の複製を禁ず)

(三ノ回七輯四十四観大亞細亞)

角

ものである。

(印畫の複製を禁ず)

(二)



九江の琵琶亭

(楊子江)

九江は楊子江に於ける貿易市場で市街は頗る繁榮してゐる。この地昔の潯陽であつて別名を江州とも云つた。寫眞は龍開河口にある史上名高い琵琶亭であつて、唐朝の詩人白居易が江上船を浮べて琵琶行を詠じたところである。後人ここに亭を建てて琵琶亭と稱したのであるが、今は荒れ果て宣花宮と云ふ小廟が残つてゐるだけで、寫眞はその琵琶亭である。

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞大圖四十卷七回ノ四)

中

楊子江沿岸支那人は物資の豊富なるに恵まれてゐるので、非常な平和な主



翁老の面方支中
(江子楊)

楊子江沿岸支那人は物資の豊富なるに恵まれてゐるので、非常に平和な生活をしてゐる。寫眞は老翁夫婦が和やかな氣分で茶館に休憩して一服してゐるところである。頭巾を冠つて屈托のない顔をしてゐるところは如何にも富裕な老翁らしい。

(印畫の複製を禁ず)

(五ノ同七輯四十圖大亞細亞)

亭琶

るが、今は荒れ果て宣花宮と云ふ小廟が残つてゐるだけで、寫眞はその琵琶亭である。

(印畫の複製を禁ず)

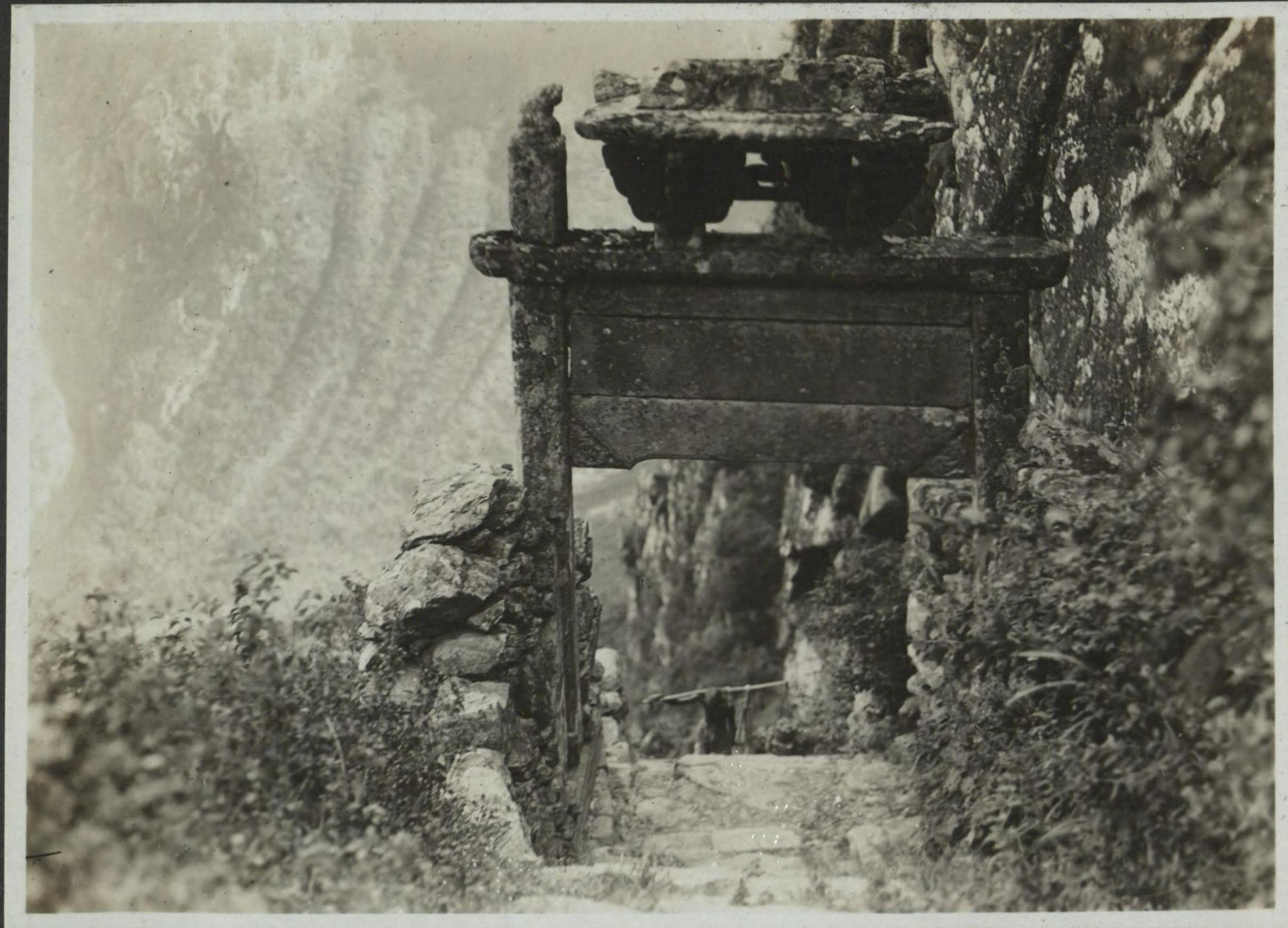
(四ノ同七)



松 湍 寺 下 流
(山 廬)

楊子江沿岸九江から南方四里ばかりのところに風景のいいところがある。これが文學的に名高い廬山である。寫眞は廬山の溪谷にある松湍寺の下を流れる溪流である。一見して幽邃の境であることが察せられる。

(印畫の複製を禁ず)



王義士の碑
(山 廬)

文學史で名高い廬山には昔から支那の詩人、文人墨客が杖を曳き神仙の山廬山の美景を嘆賞した。王義之もこの山に遊んだことがあるので、後人がその地を記念するために王義之の碑を建ててゐる。寫眞の石門の如きものがその碑で欄間の邊額の王義之の碑の文字も風雨に朽ち青苔が生へて判然としてゐないが、兎に角古雅にして風趣の景に富んだところである。

(印畫の複製を禁ず)

(七ノ回ノ輯四ノ圖大亞細亞)



廬山の瀧

(廬山)

奇峯奇谷の多い廬山にはまた奇景、絶景が多い。寫眞は牯嶺の南方にある瀧で、山門溪谷の地に白鬚の如き流れは如何にも幽邃境で一度この地に足を踏めば山の靈氣に觸れて身心の爽快さを覺へる。

(印畫の複製を禁ず)

(八ノ回七頁四十四圖大を編註)

廬

廬山に西林寺と稱する寺がある。昔しから東林寺と併稱された程輪奐の美を誇つたほど



廬山西林寺
(廬山)

廬山に西林寺と稱する寺がある。昔しから東林寺と併稱された程輪奐の美を誇つたほどの古寺で支那でも著名な寺であつたが、長安の兵亂に兵焚にかかつたまま再建出来ず今は廢頽しきつてゐる。古塔は中腹より折壞し塔台が僅に残つて在りし昔を寂しく物語つてゐるのみである。文人墨客等は此處に立つて、流石の名刹も今や全く見る影もなき破塔一片の惨影に只だ後時の盛觀を佩ぶのみである。
(印畫の複製を禁ず)

(十ノ圖七觀四十圖大亞細亞)

(印畫の複製を禁ず)



廬山の茶店
(山 廬)

風光の美に富む廬山には、その景勝を訪ねる遊客が非常に多い。従つてその遊客等は山の茶店の牀にかけて濃茶をすすりながらあたりの風景を展望し文を作り詩を作るのである。廬山にはこれらの文人墨客その他の遊客の休憩所として五支里毎に必ず一軒の茶店があつて遊客を待ち、遊客はまた茶店をさして杖を曳くのである。そして神仙廬山の傳説を語り合つてゐるのである。

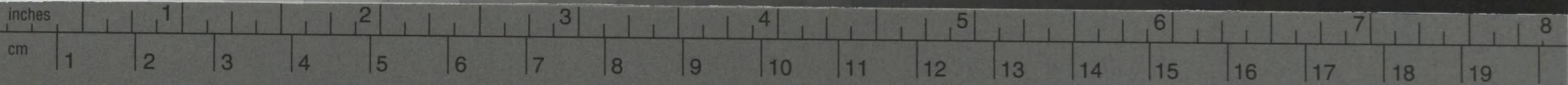
(印畫の複製を禁ず)

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

